

# 大南の軌跡

武蔵村山市立小中一貫校  
大南学園第四中学校  
学校だより 第1号  
令和6年4月11日

## 新たな気持ちで目標に向かって

武蔵村山市立小中一貫校大南学園  
第四中学校 校長 福泉 宏介

今年度より本校の校長職を拝命しました福泉と申します。この3月までは、私は本校で副校長として3年間勤務して参りましたが、この度前任の清水校長先生の退任に伴い、校長に就任しました。副校長の立場で関わってきた経験を生かしながら、清水校長はじめ歴代校長がこれまで築いてきた本校の伝統や特色を引き継いで、学校経営をしていこうと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

さて、私は始業式では「紙一枚一枚は軽くて薄くても、コツコツと積み上げていけばかなりの厚みと重さになる」というお話を、入学式ではトーマス・エジソンの「成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないことである」というお話を、「主体性」というキーワードを掲げました。新年度、心機一転頑張ろうという気持ちが前面に出ている生徒の顔を見ると、こちらも頑張らなければ、という思いになります。

「努力は裏切らない」という言葉があります。ただし、それには条件があると思うのです。いくら努力をしても、誤った方法で努力しても、力は身に付きません。正しいかどうかはすぐには分かりません。そこで大切になるのが、「素直になる」ことです。自分ではない誰かに見てもらい、アドバイスに素直に耳を傾ける。方法が誤っていたら、素直に認め、改善していく。信念を曲げるのではなく、方法や方向性を変えてみる。こうすることで、見えてくるものがあったり、道が開けたりすることがあります。

このように言うのは簡単ですが、これがなかなかできないのが人間です。自信や信用を失うこと恐れるあまり、その場を取り繕ったり誤魔化したり、時には嘘までついてしまうことがあるかもしれません。ですが、「良薬口に苦し」とも言います。自分に

とって都合が悪いことであっても、まずは素直に話を聞いてみる。その内容を鵜呑みにするのではなくしっかりと考え、自分と素直に向き合う。誤りは素直に認め、改善の努力をする。この繰り返しこそが、人を成長させていきます。

努力をしたから必ず希望が叶う、とは限りません。しかし、努力をしなければ絶対に希望が叶うことはありません。今まで成功してきた人は、必ず努力をしてきています。また、努力をした経験は、皆さんの心を必ず鍛えてくれます。無駄な遠回りに見えるようなことでも、必ず人生の糧となって、いつか自分を助けてくるものです。

ここで、もう一つ皆さんにお願いです。努力している人に対して、笑ったりからかったりしてはいけません。

中学校での3年間は、今は長く感じて、過ぎてみると本当に短い3年間ではしかありません。この中で、ぜひいろいろなことに、失敗を恐れず挑戦し、自分を磨いていきましょう。

今年度一年間、私たち教職員一同、保護者の皆様、地域の方々とも手を取り合って、全力で生徒の努力を応援していきます。本校の教育活動に御理解・御協力をよろしくお願いいたします。



# 令和6年度 学校経営方針（抜粋）



## 大南学園第四中学校の教育目標

小学生の憧れとなるために

- 知を磨く生徒（自主・自律）
- 徳を積む生徒（共生・貢献）
- 体を鍛える生徒（健康・大志）



小中一貫校基準 「自分の考えをもち、理由をそえて説明できる生徒」

### 1 目指す特色ある学校像

小中9年間を通し、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を図る

〈生徒〉 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けた生徒

〈教師〉 生徒を温かく見守り、「主体的・対話的で深い学び」で学力を伸ばす教師

〈学校〉 コミュニティスクールの機能を生かして、保護者・地域と情報や理念を共有して小中一貫教育を進める学校

### 2 経営の具体策

(1) 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

- ① 言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を養い、生徒一人一人が主体的に学習に取り組む態度を育てる。また、他者と協働して課題解決を図る学習を展開する。
- ② 生徒一人一台端末、ネットワーク環境の有効利用を図り、個別最適化された学習を提供する。
- ③ 放課後や長期休業日に補充的な学習を実施する。また、朝の学習会や放課後のチャレンジ教室によって、基礎学力の定着を図る。
- ④ 道徳で、ローテーション授業を行うことで、多面的に考え、自分事として議論する授業を行う。
- ⑤ 学校行事を生徒の実行委員会を中心に創り上げ、自主的・実践的な力を育成する。
- ⑥ 各教科、総合的な学習の時間に「まちづくり学習」を設定し、保護者、地域と連携して探求学習を進め、より良い地域づくりのために主体的に考え、行動する態度を育てる。
- ⑦ 職場体験で地域への貢献意識を高め、自分のまちのより良い姿に向けた具体策を考えさせる。

(2) 特色ある教育活動

- ① 学校全体で、不登校対応に取り組み、定期的なアンケートをもとに教育相談機能を高め、生徒に寄り添い、不登校の未然防止と学校復帰に努める。
- ② コミュニティスクールの機能を生かした学校づくりを行い、小中一貫教育を広く発信し、教育活動に外部の関心を集め、生徒、教職員の意欲の向上と生活態度やサービスを正す。
- ③ 小中一貫教育の在り方を再構築し、交流行事等実現可能な活動を創出する。

(3) 生活指導・進路指導

- ① 生徒の声明を第一に考え、安全な学校生活のために共通理解を図り、組織的に対応する。
- ② 教育相談担当者の組織を設置して、いじめ等の問題行動や不登校の未然防止に努める。
- ③ 上級生の体験談やキャリアパスポートで、過去を踏まえ、将来を見通した課題解決に臨ませる。

### 3 小中一貫教育推進に向けた方策

小中一貫校基準「自分の考えをもち、理由をそえて説明できる生徒」

・定期的に学園会議と担当者会議を開くことで

- ① 小中一貫校の意義を確認し、連携して「知・心・形の統合」を推進する
- ② 小中合同で教科指導研修会やOJTを推進し、教師の授業力・指導力の向上を図る
- ③ 生活指導の情報交換をもとに基本的な生活習慣や授業規律の大南スタンダードを作る
- ④ 小中一貫した生活指導、キャリア教育等で自律心を育て、自らの生活向上を促す

# 4月 行事予定

日	曜	4月 学校行事等	日	曜	4月 学校行事等
1	月	春季休業日	17	水	耳鼻科検診 ⑤カット 中学校教育研究会
2	火		18	木	全国学力調査(3) 内科検診
3	水		19	金	朝礼 尿検査一次 安全指導
4	木		20	土	授業①～③ 全校保護者会(13:30～)
5	金	春季休業日(終)	21	日	
6	土		22	月	
7	日		23	火	尿検査一次予備日 専門委員会
8	月	始業式	24	水	職員会議
9	火	入学式	25	木	内科検診 中央委員会
10	水	対面式 給食始	26	金	生徒会朝礼 尿検査一次予備日 個人写真撮影 避難訓練
11	木		27	土	
12	金	身体計測(ジャージ登校) 専門委員会	28	日	
13	土		29	月	昭和の日
14	日		30	火	内科検診 生徒総会リハーサル
15	月	全国学習状況調査(3)	5/1	月	生徒総会
16	火	中央委員会	5/2	火	専門委員会

## 一斉メール配信サービス「マチコミ」への登録のお願い

本校では、一斉メール配信サービスとして「マチコミ」を活用しています。小学校のTetoluとは異なるシステムですが、現在次のような活用をしています。

- 学校・学年からのお知らせ、緊急連絡の一斉送信  
(学校だよりのカラー版についても、個人情報削除した上で配信しています。)
- 保護者会、PTA活動への参加確認・出欠確認(4月19日の保護者については使用しません。)
- 御家庭からの欠席・遅刻・早退についての学校への連絡(マチコミアプリを使用)
- 各種アンケートの配信と回答

学校だよりは原則として紙面でも配布していきますが、通知等は順次配信のみに切り替えていく予定です。また、本システムは、PTAでもお知らせや総会議案書の送付、行事のお手伝いの連絡などに使用していきます。新1年生には入学式の後に登録用紙を配布しましたので、御登録をお願いいたします。

新2・3年生でまだ御登録いただいていない御家庭がありますが、この機会に御登録ください。

なお、登録方法等については担任の先生にお尋ねください。よろしく申し上げます。